会員リレートーク Vol.42

子供たちと環境問題を考え行動する

ざぶん賞山梨実行委員会

ざぶん賞とは

生命の源である「水」を主題に、「生命」「環境」の大切さを理解し、自助、共助の精神で行動できる若人の育成を目指して創設された環境保護団体です。本部は石川県白山市にあり、2002年に創設され**初代会長に元文部科学大臣の馳浩氏**が就任し、2003年からは**ジャーナリストの筑紫哲也氏**が2代目会長に就任し、現在の会長は**月尾嘉男氏（東京大学名誉教授・工学博士）**が就任しております。ざぶん賞は、各県域に傘下の団体「実行委員会」を有しており、山梨県でも「ざぶん賞山梨実行委員会」を2007年に立ち上げ、現在12年目の活動を継続しております。

主な事業

夏休みに小中学生から、生命の源である「水」に関係した内容の作文・童謡・詩・手紙などの創作文を公募し、優秀作品は全国表彰式（石川県金沢市）に招待するとともに展示会を開催します。

入選作品は、アーティストが装画などを加え、芸術作品に仕上げ本人に贈呈します。

また、入選作品は冊子「ざぶん庫」に掲載し、入選者には「ざぶん庫」をプレゼントします。

応募者全員には「ざぶん大使認定証」を発行します。

山梨県からの受賞者（2018年度）

全国大会表彰	山梨地区表彰	受賞者	所属学校
文部科学大臣賞（全国一位）	山梨県知事賞	萩原　結花さん	山梨大学教育学部付属中学 1年
ざぶん環境賞	山梨県教育庁賞	湊　　達希さん	駿台甲府中学 1年
ざぶん文化賞	山梨県教育庁賞	清水　優音さん	駿台甲府中学 1年
ざぶん特別賞	山梨県森林環境部長賞	川口このみさん	甲府市立北西中学校 1年
ざぶん特別賞	山梨県森林環境部長賞	齋藤　祁新さん	南ｱﾙﾌﾟｽ市立若草中学校 1年

ざぶん賞全国表彰式において一つの県から、５名も受賞されるのは全国でも異例の大挙であり他県の方々から祝福を受けました。

ざぶん賞山梨地区展示会は、2019年1月26日（土）～1月28日（月）甲府市市民コミュニティーホルにおいて開催し大勢に方にご観覧いただきました。

「水」を守ることは、日本だけではなく、世界の人々にとって、もっとも重要なことです。そのために私たちが、「水」の重要さに気付き、「水」を守るために活動することが必要です。若い人たちが身の回りで起きている「水」の問題を観察し、それを文章に表現することにより、身の回りから「水」の問題を考えて欲しいと願っております。「ざぶん賞」は、２１世紀の最大の課題である環境問題を子供たちと考え、海の波が「ざぶん、ざぶん」と絶え間なく継続しているように、そして子供たちが「ざぶん」と川に飛び込み遊べる環境作りを目指して活動を続けてまいります。

２０１９年度（令和元年度）も、夏休みに小中学生から「水」に関する創作文を募集します。応募要項、応募用紙は「ざぶん賞」のホームページからダウンロードできます。



全国大会で作品を発表する
萩原結花さん



山梨地区表彰式で表彰状を受ける
川口このみさん

ホームページ　ざぶん賞　検索

きれい甲斐

No.85 JULY 2019

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県森林環境総務課内
TEL.055-223-1657　FAX.055-223-1636　✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ　パートナーシップやまなし　検索

発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R80 古紙パルプ配合率80%再生紙を使用しています

令和元年度定期総会を開催



令和元年度定期総会を、6月8日（土）、山日 YBS ホールで開催しました。

議事では、平成３０年度事業報告・収支決算報告、令和元年度事業計画・収支予算について原案どおり承認されました。

役員・企画委員

会長	坂本	政彦	（一社）山梨県トラック協会			
副会長	田辺	光正	山梨県ボランティア協会	野口	英一	（公財）富士山をきれいにする会
	石原	初江	山梨梨県ＰＴＡ協議会	長田	学	山梨県農業協同組合中央会
	萩原	雄二	日本労働組合総連合会山梨県連合会	小林	明	山梨県商工会議所連合会
監事	浅野	正一	（一社）山梨県建設業協会	辻	一幸	（一社）山梨県森林協会
企画委員長	志村	宏司	パルシステム山梨			
企画委員	内藤	力	山梨県商工会連合会	横山	浩二	環境に関する企業連絡協議会
	飯窪	さかえ	あしたの山梨を創る生活運動協会	仲澤	早苗	山梨県消費生活研究会連絡協議会
	伊藤	祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	清水	澄男	（一社）山梨県労働者福祉協会
	黒田	光秀	学識経験者（クロダ㈱）	雨宮	一夫	山梨県自然保護教育振興会
	齋藤	紳悟	（公社）山梨県私学教育振興会	安井日出夫		（一社）山梨県老人クラブ連合会
				依田	茂己	山梨県青少年団体連絡協議会
顧問	宮川	睦武	山梨県中小企業団体中央会			

令和元年度事業計画

１．活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

（１）広報誌の発行
- 会員向けの会報的なものとし、年４回の発行を基本とします。
- 会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
- 会員紹介や会員の特徴のある活動をＰＲし、環境活動を広めていきます。

（２）会員の募集
- 積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。

（３）ネットワークづくりのための検討
- 会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

２．３Ｒ・温暖化防止対策実践活動推進のための事業
- エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催
- ３Ｒ推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催
  県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。
- 環境に関するイベントへの参加
  県民の日記念行事等のイベントにおいて環境パートナーシップやまなしのブースを設置し、本会のＰＲや活動内容の紹介等を実施します。

３．その他
- 行政課題解決のための協働事業
- 県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充

「やまなしクリーンキャンペーン」、「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・ＮＰＯ活動推進月間」「やまなしクールチョイス県民運動」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

「環境フォーラムinやまなし」が開催されました

環境パートナーシップやまなし定期総会の後、同会場おいて、山梨県とＹＢＳの共催で「環境フォーラムinやまなし」が開催されました。

フォーラムでは、山梨県環境保全功績者表彰を行うとともに、帝京科学大学の仲山教授による基調講演、上野元嗣氏による「エコサイエンスショー」が行われました。また、後半ではつるの剛士さんをゲストに迎えたラジオ公開収録も行われました。イベントを通じ、多くの方に海洋汚染問題や３Ｒについて学んでもらいました。







【環境保全功績者被表彰者】

（敬称略）

団　体

- 開地地域協働のまちづくり推進会（都留市）
- 禾生地域協働のまちづくり推進会（都留市）
- 富士川町立増穂南小学校（富士川町）
- 山中湖村立山中湖中学校（山中湖村）



「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2019」作品募集中です

このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒、県内在住又は県内勤務者から省エネ、マイバッグ・マイはし・マイボトルなどエコに関する絵及び川柳を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。

賞品を多数用意していますので、会員の皆様のお子様などにもふるって応募いただきますようご協力をお願いします。



応募方法　専用の応募用紙（コピー可）に省エネ、マイバッグ、マイはし、マイボトルなどエコに関する図柄を一つ以上題材とした絵（一人一点）又は川柳（一人三句）をご自由におかきいただき、82円切手を貼り、ポストに投函してください。
応募用紙は、環境パートナーシップやまなしホームページでダウンロードできます。
http://www.pref.yamanashi.jp/sinkan-som/partnership.html

応募〆切　令和元年9月13日（金）【当日消印有効】

発表　審査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。
また、11月中旬に入賞者の表彰を行い、賞品を贈呈します。

応募先・問い合わせ先　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1
環境パートナーシップやまなし事務局
（県森林環境総務課内）
TEL　055-223-1657

COLUMN コラム　萩原　智子



私は山梨県甲府市出身。幼い頃から、富士山や八ヶ岳、北岳、甲斐駒ヶ岳などに囲まれて過ごしてきました。甲府盆地のど真ん中から３６０度の山々を眺めていましたが、正直、自分自身が山に登るなんて想像もしていませんでした。県外の友人に富士山に登ったの？と聞かれ、苦し紛れに口から出たのは「山は下から眺めた方が綺麗でしょう！」でした（笑）

山にまったく興味がなかった私が初めて登山をしたのは、23歳の大学院生のとき。九州出身の先輩に富士登山の感想を聞かれました。地元の私は当然、富士山に登っているものだと思っていた先輩は、私の「登っていない」の返事に、「地元の人間として恥ずかしくないのか？日本一の富士山があるのになぜ登らないんだ！」と激怒されました。先輩の熱さを一方的に押し付けられた私は、６日後、まさか富士山の八合目で星空を眺め、涙を流すことになるなんて・・・。

富士山八合目の山小屋に泊まり、翌日ご来光を見て下山する計画。足が鉛のように重く、ずっと下を向いて登り、やっとの思いで山小屋に辿り着きましたが、辛さよりも忘れられないのは、夜空に広がる星々の賑やかさ。プラネタリウムのように星が輝いていました。気が付くと、涙が溢れ出ていたのです。自分でも驚きました。

スイマーとして世界を目指していましたが、当時はスランプ状態。毎日が苦しくて悔しくて情けなかった・・・しかし無数の星と眼下に見えた小さな花火から、自身の悩みはちっぽけなことだと思い、心がスッと軽くなりました。

周りの評価だけがすべてではなく、自分自身の評価が一番大切なのだと気づけたのです。富士登山は、私の人生で大きなターニングポイントとなりました。今でも富士山を見ると、当時を思い出します。

Profile プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　・日本水泳連盟理事
・日本マスターズ水泳協会理事
・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員
・スポーツ庁参与
・日本体操協会理事
出 身 地　山梨
出身校　山梨学院大学付属高等学校
山梨学院大学
山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。
5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」 や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。